

発達が気になる子（人）への支援事業（平成26年度実績・平成27年度予定）

ライフステージ	カテゴリ	事業名	担当課	内容	実施場所等	対象者	対応職員	平成26年度実績	平成27年度予定	課題
乳幼児期		障害児巡回指導・相談	こども園課	大学教授の専門家が保育園、こども園を巡回し、障害児や気になる子のより良い保育のために相談、アドバイスをする。	公私立こども園・保育園 10時～12時	保護者の了解が得られた障害児・気になる子の親子	保育教諭	公私立保育園38園	巡回相談 加配対象児に対する支援 障害児の入所面接・審査会	○通所施設の設置 ○空き部屋を利用した相談事業実施
乳幼児期		あそびの教室	健康づくり推進課	①子どもが集団遊びを通し、ことばや社会性を身につけることができる。 ②養育者が、子どもとの関わりに自信が持て、より積極的な育児ができる。以上2つを目的とした集団での健診事後フォロー教室（予約制）。 内容は自由遊び・課題遊び・先輩ママの話。	・城東保健福祉センター：第1（金）9：30～（7月より）2歳児対象：第1（水）9：30～ ・南部保健福祉センター：第1（木）9：30～ ・長田保健福祉センター：第2（木）9：30～ ・清水保健福祉センター：7月まで第4（金）8月～第2・第4（金）9：30～ ・蒲原保健福祉センター：第3（火）9：30～	健診・訪問をとおして心理相談を受け、必要と判断された幼児とその親（城東保健福祉センターは、3歳児と2歳児に分けて実施）	保健師・心理相談員・保育士・いこいの家職員（葵・駿河区）・うみのこセンター職員（清水区）・きらり職員	城東保健福祉センター（葵健康支援課）：21回 実44人 延186人 南部保健福祉センター（駿河健康支援課）：13回 実26人 延118人 長田保健福祉センター（駿河健康支援課）：12回 実16人 延99人 清水保健福祉センター（清水健康支援課）：20回 実51人 延181人 蒲原保健福祉センター（清水健康支援課）：12回 実13人 延80人 市計：78回 実150人 延664人	城東保健福祉センター：21回 南部保健福祉センター：12回 長田保健福祉センター：12回 清水保健福祉センター：20回 蒲原保健福祉センター：12回 市計77回	○段階的なフォロー体制の構築 ○療育が必要な児の選別 ○療育が必要な児の受け皿
乳幼児期		障害児支援教室	健康づくり推進課	①ハンディキャップを持つ児とその母同士が、交流することで育児の孤立化が予防できる。 ②育児に対し抱える問題を、母が集団の中で解決ができ、育児に自信が持てる。以上2点を目的とした、集団での障害児支援教室。内容は体操と、月ごとに療育機関や制度の紹介・季節の行事・摂食相談等設定。	東部保健福祉センター 第1（木）9：30～12：00（予約制）	障害をもつ乳幼児とその親	保健師・心理相談員・（月により北養護学校教諭・歯科衛生士・言語聴覚士）	12回 実25人 延117人	12回	○就園前の教室の不足

コース	カテゴリ	事業名	担当課	内容	実施場所等	対象者	対応職員	平成26年度実績	平成27年度予定	課題
乳幼児期		心理相談	健康づくり推進課	子どもの成長や発達過程に生じるさまざまな問題に対して専門的な立場から指導助言を行い、問題解決または不安を軽減することを目的とした、約1時間程度の個別相談事業。	【葵健康支援課】城東・東部・北部・藁科の各センターにて月2回開催。 【駿河健康支援課】南部・長田・大里の各センターにて月2～3回開催。 【清水健康支援課】清水保健福祉センターにて月7～8回、蒲原保健福祉センターにて月1～2回開催。 ※各会場1回3枠（1枠1時間）。健診同日開催と、別日開催があり。	・1歳6か月児健診もしくは3歳児健診において心理相談が必要と判断された者。 ・健康診査後の関わりやその他相談等において、幼児の発達や保護者の訴え、養育状況等で心理相談が必要と判断された者。	心理相談員・保健師	【葵健康支援課】計95回 実177人 延186人 【駿河健康支援課】計77回 実154人 延162人 【清水健康支援課】計105回 実179人 延198人 市計277回 実510人 延546人	【葵健康支援課】96回（ただし2HCについては3歳児健診等と同日開催） 【駿河健康支援課】78回 【清水健康支援課】104回（清水HC86回、蒲原HC18回）市計278回	○低年例の療育先（幼児言語教室等）の不足 ○相談日までに日数を要する ○保健センターに心理職不在 ○遊びの教室の受け入れが限界
乳幼児期		発達支援健診・総合発達相談	健康づくり推進課	【発達支援健診】幼児健診事後事業として、支援の必要がある児に対して、児の発達確認をすると共に児や親への今後の対応及び支援を考えることを目的とした、専門医診察による個別の健診。 【総合発達相談】乳幼児健康診査等の結果、心身に異常の疑いがある乳幼児に対し、専門職種による総合的相談を実施することによって、心身障害の早期発見及び療育の推進を図り、乳幼児の健全な発達を支援することを目的とした個別の相談。	【発達支援健診】城東保健福祉センター（葵健康支援課）偶数月第1（水）13：30～16：30、南部保健福祉センター（駿河健康支援課）奇数月第1（水）13：30～15：30 【総合発達相談】清水保健福祉センター（清水健康支援課）月1回	各種健診・相談、家庭訪問等で発達支援健診が必要と判断された児	【発達支援健診】小児科医、心理職、保健師 【総合発達相談】小児科医、言語聴覚士、心理相談員、保健師	【発達支援健診】城東保健福祉センター6回 実・延18人 南部保健福祉センター6回 実・延19人 【総合発達相談】清水保健福祉センター9回 実・延19人 市計21回 実延56人	【発達支援健診】城東保健福祉センター6回、南部保健福祉センター6回 【総合発達相談】清水保健福祉センター11回 市計23回	健診後の継続支援（親支援） 相談の予約がいっぱい 保護者の意識
乳幼児期		障がい児・ハイリスク乳幼児歯科保健啓発事業	健康づくり推進課（障害者歯科保健センター）	HCで開催される就学前、検診後フォローアップ教室等に出向き、年1回、歯科講話、相談を実施している	年1回 3か所で実施（H27年度予定）	就園前の障がい児および発達障がいの疑いのある乳幼児とその家族	歯科医師 歯科衛生士	5か所1回ずつ実施（パンダ・ベビーパンダ教室、ぞうさん教室、イルカの会、めだかっ子）	イルカの会、めだかっ子は実施予定 ぞうさん教室での事業は実施済み	○保護者の意識
乳幼児期		ことばと育ちの親子教室	子ども未来課	未就園の子どもとその親を対象として、音楽療法士による音楽遊び等を通じ、発達やことばの伸ばし方、又、小児科医師のカウンセリングにより親子の関わり方を学ぶ。	静岡中央子育て支援センター 9月から2月の間の水曜日、10時から11時	未就園児（療育前）の子どもとその親	発達障害者支援センターきらり小児科医師、心理士、音楽療法士、ペアレントメンター 静岡中央子育て支援センター 保育士	年10回実施（事前個別面談2回、教室8回）	H26同様に実施予定。	○対象者の募集方法 ○関係機関との連携

フィ ン デ ン グ	カ テ ゴ リ	事業名	担当課	内容	実施場所等	対象者	対応職員	平成26年度実績	平成27年度予定	課題
乳 幼 児 期		就学相談・就学支援	学校教育課	発達が気になるお子さんの就学先について、保護者からの相談を受ける。また各こども園、幼稚園、保育園等に出向き専門調査（子どもの行動観察、保護者との面談）を行う。そして、就学先決定のための専門家の意見聴取の場である就学支援委員会を設定し、審議を出す。	就学相談は随時特別支援教育センターで行う。専門調査は随時園と連絡を取り合い調整、園に出向き行う。時間帯は午前中が多い。また就学支援委員会は特別支援教育センターで年3回6月、10月、1月に14時から16時の予定で行う。	就学前幼児、保護者	特別支援教育センター指導主事、特別支援教育相談員、医師、特別支援学校教諭、市立小中学校教諭、関係機関職員、行政関係課職員	就学相談実施回数 649回	H26と変わらず実施予定。	○発達が気になる子どもの増加に伴うニーズへの対応
乳 幼 児 期		母子療育訓練センターの運営	障害者福祉課	【静岡市清水うみのこセンター】障がいのある児童及び保護者に対し、通園の場を設けて適切な療育、訓練や指導等の実施。 ・療育相談や指導、母親指導等	【療育相談（母子療育訓練）】 毎週月～金曜日 9:00～16:00	就学前の発達に心配のある就学前の子どもと保護者	社会福祉士、保育士、介護福祉士、児童指導員	療育訓練、療育相談、母子指導等の実施 ・療育訓練 延利用者数 2,257人 ・療育相談 延利用者数 2,163人 ・交流保育 延利用者数 197人 ・特別指導 延利用者数 45人 ・訪問指導 延利用者数 105人	継続実施	○増加する利用者の受入体制の確保
乳 幼 児 期		児童発達支援センターの運営	障害者福祉課	【静岡市心身障害児福祉センター『いこいの家』】障がいのある児童に対する療育指導、療育相談及び保育所等訪問支援等を実施。 ・障害児通園事業、保育所等訪問支援事業、障害児相談支援事業、親子教室、交流保育	葵区城東町24-1 [親子教室] ・火～金曜日 10:30～12:30 (月3回) [療育相談、訪問活動] 随時	就学前の障がいのある子どもと保護者	児童指導員、保育士、作業療法士、心理指導員、看護師	通園事業、親子教室、療育相談等の実施 ・通園事業 延通園人数 9,511人 ・親子教室 延参加者数 1,695人 ・療育相談 相談ケース 34件 ・障害児相談支援 1,424件	継続実施	○増加する利用者の受入体制の確保
乳 幼 児 期		子育て支援センター	子ども未来課	親子で遊びながら、親同士の情報交換や仲間づくりなど交流を深める場として、開設しています。季節の行事や子育て支援講座、育児相談などを行っています。	市内19カ所で開催	就園前の子ども、保護者	保育士	市内18カ所で開催	市内19カ所で開催	○実施ヶ所の拡充
乳 幼 児 期		幼児言語教室	学校教育課	言語に遅れのあるお子さんの指導を行う。	教室は特別支援教育センター内、麻機小学校内、南部小学校内、清水浜田小学校内、清水袖師小学校内にあり、指導は一人月2回あるいは月1回等子どもの状態に合わせた回数で実施。教室は毎日9時から16時まで開いている。	就学前幼児、保護者	幼児言語教室指導員	幼児言語教室 利用幼児数 566人	H26と変わらず実施予定。	○療育機関の拡充

コース	カテゴリー	事業名	担当課	内容	実施場所等	対象者	対応職員	平成26年度実績	平成27年度予定	課題
乳幼児期		おやこあそびの教室	学校教育課	主に幼児言語教室の待機幼児対象に、親子で遊びながら全体の発達を促す。	特別支援教育センターで行う。6月から12月までの第2、第4金曜日、9時30分から11時まで。	就学前幼児、保護者	小児科医師、発達障害者支援センター「きらり」職員、幼児言語教室指導員、ペアレントメンター、音楽療法士、言語聴覚士、保育ボランティア	8回（8月～12月）10組程の親子が参加。	おやこあそびの教室は継続し、よりきめ細やかな指導と保護者支援を行う予定である。6月～12月まで全11回の予定で登録親子は14組。	○専門性の高い指導の提供
乳幼児期～学齢期		ママ交流会	健康づくり推進課	平成18年度より長田の地区保健活動より開始した。地域で障がいのある在宅の乳幼児を育てる親が孤立しないように、交流の場を設け、知り合いになった親子が地域でもつながりを持つことができることを目的とした交流会。	長田保健福祉センター（駿河健康支援課） 奇数月第2（金） 10:00～11:30	障がいのある児を育てる親	保健師、ボランティア、主任児童委員	6回 実23人 延63人	6回	○活動の幅をひろげるための、自主的活動の推進
乳幼児期～学齢期		家庭訪問（妊婦から新生児・乳児～すべて対象）	健康づくり推進課	【母子】ハイリスク妊婦への訪問	各健康支援課計9保健福祉センターにて随時実施	【母子】妊婦、産婦、新生児、乳幼児、未熟児、思春期学童、被虐待児（未就学児）等	保健師	【母子家庭訪問】 実 6,256人 延9,508人	随時実施	○発達が気になる子のその先の支援 ○保護者の認識（理解） ○経過の長期化
乳幼児期～学齢期		虐待相談	子ども家庭課	背景に育てにくさ、親子関係でうまくいかないなどのある虐待相談、育児相談。	家庭児童相談室（各区）	子ども及び子どもを取り巻く家庭について相談のある人	心理職、事務職	相談受付件数（延べ） 1534件	平日 8:30～17:15 相談窓口を開設	
乳幼児期～学齢期		①療育相談 ②虐待相談 ③入所児。里親に対する相談 ④療育手帳の判定、面接	児童相談所	①、② 子育ての不安等の相談に対して、家庭環境や背景、育てにくさ、親子関係で上手くいかない等、発達が気になる児の保護者に対して相談対、指導・援助等を行う ③児童養護施設等への入所児童や里親に委託されている児童の心理検査、見立て、対応方法について協議を行う。 ④療育手帳の取得申請に対して、判定・面接等を実施	児童相談所で面接あるいは家庭訪問時間は随時	0歳から18歳までの児童及び保護者	児童心理司、児童福祉司、保健師	総相談対応件数 2,251件	①療育相談 ②虐待相談 ③入所児。里親に対する相談 ④療育手帳の判定、面接の随時実施	○児童相談所の体制の充実・強化
乳幼児期～成人期		障害児等療育支援事業	障害者福祉課	療育や介護、情報提供の支援をともに考えたり、保育園等に専門スタッフを派遣し、様々な育児相談・支援などを行います。	市内4事業所	障がいのある人やその家族、関係機関等	医師、保育士等の専門スタッフ	市内4事業所で実施	継続実施	

フィーズ	カテゴリー	事業名	担当課	内容	実施場所等	対象者	対応職員	平成26年度実績	平成27年度予定	課題
乳幼児期～成人期		発達障害者支援事業	障害者福祉課	①発達障害者支援センター運営事業（相談支援事業、発達支援、就労支援、普及啓発・研修） ②発達障害者支援体制整備事業（発達障害者支援体制整備検討委員会の開催、家族支援・支援体制サポート強化事業）	静岡市発達障害者支援センター「きらり」（静岡医療福祉センター4階） 8時30分～17時00分（月～金曜日）	発達障がいのある人、その家族、関係者	小児神経科医師、臨床心理士、社会福祉主事等	①相談支援 865件（延）、発達支援1748件（延）、就労支援 226件（延） ②巡回支援 ・幼稚園、保育園22園訪問、小学校9校訪問、中学校3校訪問	随時実施	○発達障がいについての理解促進 ○本人や保護者の障がい受容
乳幼児期～成人期		障害福祉サービス、障害児通所支援	障害者福祉課	障害者総合支援法・児童福祉法に基づく様々なサービス。（障がいのある人が家庭で支援を受けるホームヘルプ等の訪問系サービス、昼間に施設で利用できる日中活動系サービス、入所施設やグループホームで夜間に支援を受ける居住系サービス、障害児通所支援、障害児入所支援）	市内登録事業所等	障がいのある人	専門スタッフ	サービス別支給決定者数は、生活介護、居宅介護、就労継続支援B型が多くなっています。	随時実施	
乳幼児期～成人期		障害者相談支援事業	障害者福祉課	障がいのある人等が抱える問題について、相談に応じ必要な情報提供・助言等を行い、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。	市内11事業所	障がいのある人やその家族、関係機関等	専門職	事業所数 11箇所	随時実施	○本人支援だけではなく、他問題を抱える相談ケースの増加 ○多様な機関との連携調整
乳幼児期～成人期		①医学的専門相談 ②療育相談 ③療育手帳の判定、面接、作成	地域リハビリテーション推進センター	①補装具に関する相談、身体障がいや身体機能の低下に関する相談 ②歩くのが遅い、歩き方が気になる、転びやすい等、乳幼児や児童の発育・発達に関する相談 ③知的障害と判定された者に対して、療育手帳を交付する	①②【場所】地域リハビリテーション推進センター 【時間】毎週火曜日（年末・年始、祝祭日を除く）13:30～15:30 ③【場所】地域リハビリテーション推進センター 【時間】月～金（年末・年始、祝祭日を除く）8:30～17:15	①静岡市在住で体が不自由な方 ②静岡市在住の乳幼児及び児童とその家族の方 ③静岡市在住で知的発達に遅れのある18歳以上の方	①理学療法士、作業療法士、嘱託医師 ②理学療法士、作業療法士、嘱託医師 ③心理判定員、嘱託医師	合同説明会 保護者生徒147人参加	①～③について、H27も継続中	
学齢期		放課後児童クラブ指導員実地研修事業（県主催事業）	子ども未来課	発達障害が疑われる子への対応について、課題を抱える放課後児童クラブに、県が、専門的知識を有するアドバイザーを派遣し、放課後児童指導員への具体的な助言を行う。	実施場所：対象の各児童クラブ 時間等：児童の下校時刻の前後3時間程度及び児童のいない時間帯の3時間（1クラブ2回×2または3クール）	放課後児童クラブ支援員	児童クラブ：放課後児童支援員（現場職員） アドバイザー：県が派遣する専門家（臨床心理士等）	安西、長田西、長田南、三保第一、高部東の5クラブで実施。（各クラブにおいて、1クール2回×2クール実施）	数クラブにおいて実施予定。	○実施可能クラブ数の限界
学齢期		特別支援教育進路指導協議会	学校教育課	特別支援学級及び特別支援学校の生徒に対し、適正な進路及び就職後の指導をすると同時に、雇用者相互の協力と地域社会の特別支援教育に対する認識を深めることを目的とした行事を行う。	年間の行事として7月か9月に進路懇談会（附属特別支援学校ゆうゆう館）10月に進路合同説明会（特別支援教育センター）を開いている。	中学生徒、保護者	市立中学校特別支援学校教諭、特別支援学校教諭	進路懇談会 保護者78人参加、	合同説明会では、参加機関の拡充を図っていく。	○参加機関の拡充

フィニッシュ	カテゴリ	事業名	担当課	内容	実施場所等	対象者	対応職員	平成26年度実績	平成27年度予定	課題
学齢期		静岡市適応指導教室（ふれあい教室・はばたく教室）	青少年育成課	不登校児童等が学校生活に適応するための指導等を行うことにより、学校生活への自発的な復帰を支援し、もって不登校児童等の自立に資することを目的とする。「人とのかわり」「やりぬく気持ち」「規則正しい生活」「学習への興味や関心」の4つの目標を掲げ、自分の生活リズムに沿って計画を立て、主体的な活動をすすめている。	ふれあい教室（葵区：中央体育館3階） はばたく教室（清水区：キララシティ2階） 月・水・金曜日 9:30～11:45 火・木曜日 9:30～13:30 ※開設日は、学校の年間スケジュールに準ずる。	市内に在住または市内の小中学校に在籍する者で、不登校の状態にあり、子ども若者相談センターで面談を受け、本人と保護者及び学校が通級を希望する者。	子ども若者相談センター所長、指導主事、非常勤職員（相談員、専任指導員）、指導補助員	年177日 通級生80人	教室での通常活動の他、自然体験教室（和田島、焼津）、運動体験（体育館・卓球・軽運動）、社会体験（るくる、図書館活動、福祉体験、鑑賞、農業体験等）など	○対応スタッフの確保及びスキル向上
学齢期 成人期		障害者就職面接会	商業労政課	就職を希望する障害者と企業とを一堂に会し、個別面接・選考会方式により実施する。	会場：グランシップ。9月・2月の2回実施。	障害を持つ方を対象	HW職員、当課職員	年2回実施	平成27年9月10日、平成28年2月（日にち未定）	
学齢期 成人期		①若年者就労支援業務 ②労働実態調査	商業労政課	①就労に悩みを持つ若年者（ニート等）、子どもの就労に悩みを持つ家族等、若者の就労問題に関心を持つものを対象とし、下記a～cを実施する。（委託）a.若者の就労に関するセミナーの開催b.出張相談会c.臨床心理士によるカウンセリング ②市内事業所における労働実態全般にわたる調査や、パートタイマー等の労働実態に関する調査を業種別・従業員規模別に行う。	①a.会場は受託者と協議のうえ決定。委託期間中に2回実施。 b.北部・南部勤労者福祉センター。委託期間中に6回実施。 c.東部勤労者福祉センター。委託期間中に12回。 ②概ね3年に1度（前回実施：H26年度）	①若年無業者（原則15～39歳未満）を対象 ②市内企業の雇用実態を把握するもの	①委託 ②委託	①a.年2回実施 b.年6回実施（相談件数177件） c.随時実施（年12回以上）、カウンセリング件数166件 ②概ね3年に1回実施。 （調査実施期間 H26.10.1～H26.11.30）	①a.平成27年7月26日に実施。（2回目は未定） b.（北部）9/30、11/25、1/27に実施予定 （南部）9/16、11/18、1/20に実施予定 c.随時（年12回以上） ②実施予定なし	
学齢期 成人期		就労支援・雇用促進	障害者福祉課	①静岡市ワークステーション開設 障がい者が1つの場所に集合して、業務支援員の指導の下、各課から依頼された作業を請け負う。 ②障がい者雇用推進のための連携体制の整備	①市役所静岡庁舎内	障がいのある人	①業務支援員	①業務支援員1名、知的障がい者2名、精神障がい者2名 ②企業を対象とした「障がい者雇用推進セミナー」を開催（商業労政課と共催）	継続実施	
学齢期 成人期		静岡市ひきこもり地域支援センター事業	青少年育成課	ひきこもりの専門相談窓口として、平成27年4月に「静岡市ひきこもり地域支援センター Dan Dan（だんだん）しずおか」を開設。電話相談や面接相談（要予約）での助言・情報提供のほか、訪問支援、本人の居場所づくり、家族教室などの支援メニューを用意。また、関係機関等と連携を図りながら、相談者とともに一歩ずつ「だんだん」と社会参加に向けての糸口を探っていく。	市立南部図書館2階 火曜日～土曜日 9時00分～17時00分 （祝日、年末年始を除く）	市内在住者で、ひきこもりに悩んでいる人やその家族など（自宅・自室から出られない、人と会うのが苦手などで、概ね半年以上社会参加が出来ない状態が続いて悩んでいる人）	委託（臨床心理士、認定心理士、ひきこもり支援相談士など）		通年実施。 居場所活動：原則として、水曜日・土曜日の午後2時間程度 家族教室：月1回程度	○継続的な相談が必要 ○関係機関等との連携、協力体制づくり ○専門的スキルのあるスタッフ・ボランティア等の確保

ライフステージ	カテゴリ	事業名	担当課	内容	実施場所等	対象者	対応職員	平成26年度実績	平成27年度予定	課題
学 齢 期 成 人 期		子ども若者相談センター	青少年育成課	概ね39歳までの子ども・若者に係る相談窓口として、助言や情報提供を行うとともに、必要に応じて、関係機関等と連携し対応を図る。	[面談] ①青少年育成課子ども若者相談センター（静岡庁舎13階） ②はばたく教室（清水区：キラシティ2階） ※月～金曜日 8:30～17:15（祝日、年末年始を除く） [電話相談] ③こころのホットライン ※月～金曜日 9:00～17:00（祝日、年末年始を除く。） ④24時間いじめ電話相談（通年24時間対応）	概ね39歳までの子ども・若者とその家族、関係者等。	子ども若者相談センター所長、指導主事、非常勤職員（相談員）	[面談]相談者数 421人、相談回数 952件 [電話]こころ 707件、いじめ 528件	通年実施。	○不登校の相談割合が高い ○学校・関係機関等との連携調整が不可欠 ○職員のスキルアップ
成 人 期		家庭訪問（妊婦から新生児・乳児～すべて対象）	健康づくり推進課	【成人・高齢者その他】特定健診要フォロー者、健康相談等各事業における要フォロー者、地区活動や民生委員等の情報から把握した要フォロー者への家庭訪問を実施。	各健康支援課計9保健福祉センターにて随時実施	【成人・高齢者他】壮年期、高齢者、精神・障害者、感染症等	保健師	【成人・高齢者その他】実1,433人 延1,832人	随時実施	